


# 抗がん剤治療に関する説明及び同意書

## ●あなたの病気・治療について

### ソトラシブ（ルマケラス）療法

1日1回コップ1杯の水またはぬるま湯と一緒に服用します。

#### ソトラシブ療法(スケジュールと方法)

薬剤	治療法(目安)
ソトラシブ	1日1回  効果が持続している間、継続して服用

## ●副作用について

副作用の現れ方、出現頻度には個人差があります。抗がん剤による副作用は、薬で予防できるものや、症状を和らげることができるものもありますので、副作用が辛いと感じたときにも担当医にお知らせください。

起こりやすい副作用	肝機能障害、下痢、吐き気、だるさ
時として起こる副作用	貧血、白血球減少、血小板減少、便秘、味覚障害 皮疹、皮膚乾燥、筋肉痛
まれにしか起こらないが重い副作用	間質性肺炎

## ●起こりやすい副作用

### ① 肝機能障害

個人差が大きいですが、肝機能障害がひどくなった場合には、薬剤投与を中止することもあります。

### ② 下痢

下痢の回数が増えると脱水症状を引き起こすことがあるので注意が必要です。飲み薬や点滴による治療を行うこともあります。

### ③ 吐き気

症状の軽いものも含めると、多くの方に現れます。吐き気止めを使うこともあります。

### ④ だるさ

症状の軽いものを含めると、多くの方に現れます。しかし、肺がん自体でも同症状が出現することもあります。

## ●時として起こる副作用

### ① 貧血

酸素を全身に運ぶ赤血球が減少することがあります。貧血が強い場合には、輸血を行うこともあります。

### ② 白血球減少

白血球は、細菌から身を守る役割(免疫機能)を担っているため、ある一定以上の数がないと感染症にかかりやすくなります。発熱を認めた場合には、早期に担当医にお知らせください。

### ③ 血小板減少

軽度なものが大半です。血小板は止血に重要な機能を果たしています。血小板の数が極端に低下した時や(2万未満)、出血がみられる場合などは、血小板輸血を行うことがあります。

### ④ 便秘

抗がん剤治療を受けている間、便秘が起こることがあります。便を柔らかくする薬や腸の動きを促す薬を使って、便通を改善するようにします。

### ⑤ 味覚障害

味覚がかわる、味がわからないなどの症状がでることがあります。味付けを変えるなど、食事の工夫を行います。

### ⑥ 皮疹

顔・胸・背中・腕などに現れることがあります。皮膚を清潔に保ち、保湿剤や塗り薬を使うこともあります。

### ⑦ 皮膚乾燥

皮膚の乾燥やかゆみが現れることがあります。皮膚を清潔に保ち、保湿剤や塗り薬を使うこともあります。

### ⑧ 筋肉痛

筋肉痛、筋肉の圧痛、筋力低下が現れることがあります。

## ●まれにしか起こらないが重い副作用

### ① 間質性肺炎

間質性肺炎(肺臓炎)は、発症した患者さんの半分近くが命をおとす危険な副作用です。風邪のような症状(咳がひどくなる・息切れ・発熱など)が現れたら、担当医に伝えるようにしてください。

抗がん剤治療による様々な副作用は上記以外にも起こることが報告されています。適切な治療を行ったにも関わらず、お亡くなりになる方もいらっしゃいます。上記のような症状、または上記以外でもいつもと違う症状が出た場合は、担当医まで連絡してください。

以上がん化学療法について説明をしました。 西暦 年 月 日

地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター

@USERSECTION 担当医師 \_\_\_\_\_

上記について担当医から説明を受け、納得しましたので治療を受けることに同意します。

西暦 年 月 日

患者氏名 \_\_\_\_\_

親族又は代理人(配偶者・父母・兄弟姉妹・親権者・保護義務者・法定代理人・その他)

氏名 \_\_\_\_\_

続柄 \_\_\_\_\_